

年頭にあたり



鏡野町長

山崎 親男

町長年頭あひさつ

町民の皆様には、2007年の初春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

新鏡野町が誕生し、2回目の新年を迎えることが出来ますことは、町民の皆様とともに慶賀にたえないところでございます。

さて、顧みますと昨年は、天皇家に41年振りとなる男子皇族「悠仁親王殿下」がご誕生されました。そして企業業績の回復を受けて税収が増加するなどの明るいニュースもありましたが、官製談合による贈収賄の問題や自治体職員による飲酒事故等、地方自治体関連の不祥事が取り上げられ、また、いじめによる児童・生徒の自殺など多くの事件、事故が発生した年でもありました。

国の財政状況の悪化を受け、地方交付税を「人口と面積」で算定する新型の基準の導入が議論されていますが、これが導入されると、8割の市町村が交付税を減額されるとの試算もされているところでございます。本町においては、健全な財政を目指して歳出削減に取り組んでいるところでございますが、限られた財源を効率的、効果的に活かすため、昨

年は2次に渡る鏡野町行財政改革審議会からの答申を受け、これを町民の皆様からのご理解、ご協力をいただきながら実行し、次世代を担う若者のために健全な町政運営を図り、町民ひとりひとりが主役となり、地域が自立する鏡野町を目指して、町民の皆様方、議会、そして行政が一丸となって、その基盤整備に取り組んで参る所存です。

また、町民が安心、安全で、安定して暮らせるよう、町民各位並びに議会議員のご支援、ご協力をいただきながら、活力のある町づくりを進めて参る所存ですので、今後ともご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

終わりに、本年が皆様にとって健康で幸多い年となりますよう、お祈り申し上げます。年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成十九年元旦



鏡野町議会議長

西山 宣治

議長年頭あひさつ

あけましておめでとございます。

平成十九年の年頭にあたり議会を代表いたしまして、謹んで新春のご祝辞を申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい平成十九年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は景気の回復による税収増や、秋篠宮家に四十一年ぶりとなる男子皇族「悠仁親王殿下」がご誕生されるなどの明るい出来事もありましたが、いじめによる児童、生徒の自殺、飲酒事故等が大きな社会問題となりました。

そして、地方自治体も依然として厳しい財政状況のなか、「三位一体の改革」により三兆円の税源委譲が実現されたものの、地方が求めていた改革からはほど遠い内容であります。

一方で中央と地方の格差が拡大し、地方交付税は「人口と面積」の基準で算定する新型地方交付税の議論が進むなか、八割の市町村で交付税が減少するという試算もあります。これまでも地方にあつては、国を上回るペースで大幅な歳出削減に懸命の努力を行ってきたところであります。

鏡野町においても、多くの行政課題が山積するなかで、歳出削減に懸命の努力をし、改革を実行して参りました。

本年も極めて厳しい財政運営を余儀なくされますが、昨年の鏡野町行財政改革審議会の答申を、町民の皆様のご理解を得て、着実に実施し、これからの超高齢化社会、少子化社会、人口減社会を念頭に置き、十年後あるいは二十年後の鏡野町の将来を見据えた行財政改革を断行しなければ、本町の未来の展望は見えません。

議会といたしましても、町民の選択、意向をもとに、より良い町づくりを目指して、議員各位とともに研鑽を重ね、議員は町民の代表者であるという認識に立ち、活力ある町づくりに新たな決意を持って取り組み、住民福祉の向上に力を合わせて、努力して参る所存であります。

町民の皆様方のご理解とご協力を御願ひ申し上げますと共に、本年も皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成十九年元旦

